



ほけんだより

24年度6月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

気温の変化が大きかった5月は、乳児・幼児共に嘔吐や下痢の理由で欠席した子が増えました。市内でもウィルス性胃腸炎が流行っている為、手洗いをしっかり行うことで予防しましょう。感染症の報告としては、溶連菌感染症（幼児2人）、水痘（乳児1人）がありました。他に耳下腺炎（1人）、中耳炎（1人）、肺炎（2人）でした。

【内科健診がありました】

囑託医の市川先生により、5/23（水）に月組・星組、5/30（水）に花組・雪組・赤組の内科健診がありました。おおむね良好で問題ありませんでした。夏に向けて水いぼの対応について伺いました。水いぼはそのままにしておいても1～2年で自然に治るものだが、表面が乾いた状態でないとプール等で他の子に感染してしまう為、水いぼが5個ぐらいのうち皮膚科にかかり、治療した方が軽く済むでしょう。また、MRワクチンの追加接種が年長児の入学前にあります。期間を過ぎると受けられないので年長時に必ず接種しましょう。（制度が変わり中学・高校での接種がなくなります）とのアドバイスをいただきました。

【歯科健診結果】

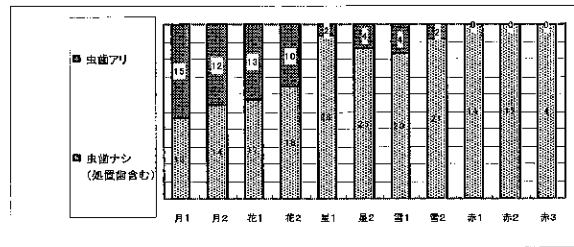


5月17日と24日に囑託歯科医の山本先生による歯科健診があり、248人が受診しました。結果はおたより帳に記入してあります。虫歯があった子はお知らせしていますので、すぐに治療を始めてください。★乳歯の虫歯は永久歯にも悪影響をもたらします。

★虫歯のある子が

248人中62人でした★

右記のグラフは、虫歯のある子とない子の数をクラス別に示し、相対的に表したものです。



★かみ合わせに

問題がある子がいました★

かみ合わせに問題があると、将来小児の肩こりや腰痛などを起こし、生活にも影響することがあります。治療には適切な時期がありますので、歯科のホームドクターをもち定期的な健診をおすすめします。しかし、子どもの歯は、生えたり抜けたり永久歯が生えたりと、歯の数やあごの発達により、かみ合わせも変化していきますので、乳歯のうちは様子を見ていけばよいでしょう。



- ① 開咬（かいこう）：前歯の上下がかみ合わない。指しゃぶりやおしゃぶりを続けることが原因になることがほとんど。
- ② 反対咬合：下の前歯が出ている。受け口。切端咬合のひどいもの。

★その他★

- ① ゆ合歯：先天的に2本の歯が1本になって生えている。特に問題はないが、普通の歯よりギザギザしているため、虫歯になりやすい為注意が必要である。
- ② 先天欠如：生えてくるはずの歯が、先天的に欠如している。
- ③ サホライド：進行止め。歯医者で進行止めに塗ってもらっている。
- ④ 上唇小帯：上唇の中央から歯茎に伸びる筋が歯の近くに付着している。

★★★ 山本先生よりアドバイスを頂きました ★★★

- ★ 2才までに親から食べ物の口うつしをしない！！（虫歯菌を子どもの口に入れない）
- ★ 2才までは極力甘い物を与えない！！（味を覚えさせなければ欲しがらないのでチョコやアメなど長い間口の中に残る物はよくない。
- ★ 毎日の仕上げみがきをしっかりと！！（幼児期の虫歯は大人の責任です）
- ★ フッ素塗布の効果は4～5ヶ月です。年長児のフッ素洗口が始まるまでは、市の健診や歯の健康フェスティバル等をうまく利用しましょう。遅くとも半年に一度フッ素塗布をすることで虫歯予防効果が持続できます。



【プールにむけて】

蒸し暑い日が続き、プール開きが待ち遠しいですね。6月29日（水）を予定しています。

泳ぐ前日には

- 耳垢をきれいに掃除する
- 手足の爪を切る
- 睡眠をよくとる

こんな症状が見られる時はプールに入れません

- 顔色が悪い
- 熱がある
- 目が充血している
- とびひ
- だるそうにしている
- 腹痛又は下痢をしている
- 病気がある（心臓病、伝染病、目・耳・鼻の病気など）

プールでうつる病気

- プール熱
- はやり目
- 水いぼ



【おわりに】

蒸し暑くなってくるとプール開きが待ち遠しいですが、免疫力が低下している時には“プールでうつる病気”にかかりやすくなります。楽しいプールあそびができるよう、健康管理に注意し、朝ごはんをしっかり食べて元気に登園しましょう！！